院政と平氏政権

ポイント 1 院政

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 院政とは

11世紀後半に藤原(ふじわら)氏と外戚(がいせき)関係のない後三条(ごさんじょう)天皇が即位

荘園(しょうえん)を整理するなどの改革を行う

↓

摂関(せっかん)家ではなく皇室中心の政治が復活

1086年，次の＿白河上皇(しらかわじょうこう)＿が＿院政＿を始める

院政：天皇が位をゆずり＿上皇＿となった後も，

中心となって政治を行うこと（白河上皇→鳥羽(とば)上皇→後白河(ごしらかわ)上皇の三代約100年間）

法皇：出家した上皇

② 武士の中央進出

上皇・摂関家・大寺社(だいじしゃ)に対して荘園の寄進(きしん)が増える

↓

土地をめぐる対立が増える

有力な寺社は僧(そう)を武装させ＿僧兵(そうへい)＿とする

↓

上皇や摂関家は強訴(ごうそ)を行う僧兵に対抗するため，

＿平＿氏や源氏などの地方武士に都の警備などをさせる（武士の中央進出）

12世紀中ごろに鳥羽上皇が亡くなると，

実権をめぐり皇室や摂関家の中で

対立が激しくなり二つの内乱が起きる

③ 二つの内乱（保元(ほうげん)の乱と平治(へいじ)の乱）

1156年　保元の乱

	勝利	敗北
皇室	後白河(ごしらかわ)天皇（弟）	崇徳(すとく)上皇（兄）
摂関家	藤原忠通(ふじわらのただみち)（兄）	藤原頼長(ふじわらのよりなが)（弟）
平氏	平清盛(たいらのきよもり)	平忠正(たいらのただまさ)
源氏	源義朝(みなもとのよしとも)	源為義(みなもとのためよし)・為朝(ためとも)

後白河天皇方の実質的な指導者は信西(しんぜい)（藤原通憲(ふじわらのみちのり)）

1159年　平治の乱

	勝利	敗北
貴族	信西（藤原通憲）	藤原信頼(ふじわらののぶより)
武士	平清盛	源義朝

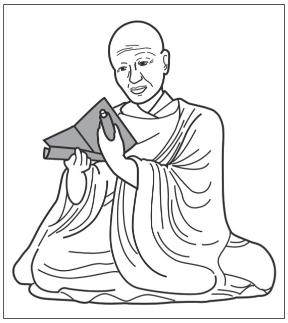
④ 二つの内乱（保元の乱と平治の乱）の結果

朝廷(ちょうてい)内の対立が武士の戦いで解決されたため，
勝ち残った平清盛が後白河上皇の院政の下で
大きな力を持つようになる

ポイント2　平氏政権

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

資料1　平清盛



※イラスト

① 平清盛の政治

1167年　武士出身として初めて　太政大臣(だいじょうだいじん)　になる

摂関家と同じように娘を天皇のきさきにして
権力を強める（外戚政策）

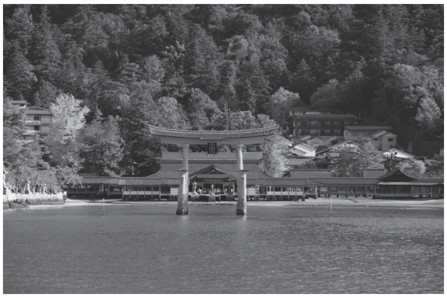
② 平清盛の経済政策

大輪田泊（現在の神戸港）などを整備して **日宋貿易** を行う

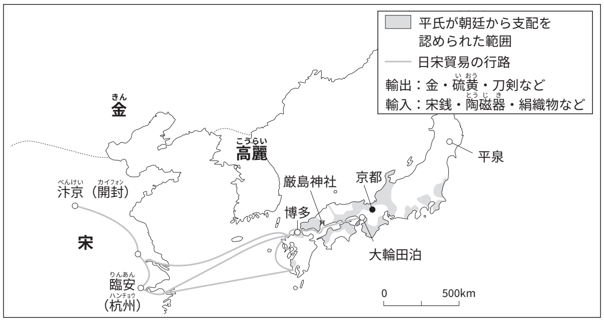
大量の **宋銭** などを輸入し，大きな利益を上げる

厳島神社 を整備して航海の安全を祈る

資料2 平清盛によって整備された厳島神社（広島県）



資料3 日宋貿易



③ 平氏の滅亡

平氏が一族で高位高官を独占し権力を強め，

皇族・貴族・大寺社などから反発が高まる

↓

1180年　後白河上皇の子である以仁王が挙兵して敗れる

↓

伊豆（静岡県）の **源 頼朝** や木曽（長野県）の 源 義仲らも挙兵

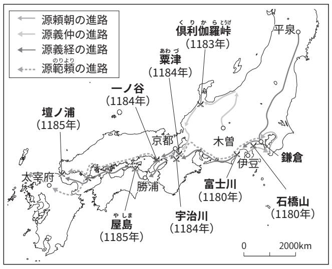
└ 源氏の棟梁

↓

1185年　源頼朝の弟である **源 義経** が

壇ノ浦の戦い（山口県）で平氏をほろぼす

資料4 源氏と平氏の争い



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 上皇が中心となって行う政治を始めた人物は誰か。 ＿＿＿＿ 白河上皇

(2) 1156年に起こった上皇と天皇の政治の実権争いに武士が加わった争乱を何というか。 ＿＿＿＿ 保元の乱

(3) 1159年に平氏が源氏を破った戦いを何というか。 ＿＿＿＿ 平治の乱

(4) 武士として初めて太政大臣となり，政治の実権を握った人物は誰か。 ＿＿＿＿ 平清盛

(5) 平氏が日宋貿易の安全を祈って現在の広島県に整備したものは何か。 ＿＿＿＿ 厳島神社

(6) 平氏を打倒するために挙兵し，関東地方を支配した源氏の棟梁である人物は誰か。 ＿＿＿＿ 源頼朝